

ホーム名：グループホーム やすらぎ					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
1		○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念はわかりやすい場所に提示し入居者一人一人その人らしさを大切にし入居者の立場に立ったサービスの提供を職員に伝えています	理念「共に生きる」がリビングに掲示されている。朝の申し送りやカンファレンスの時に話題にし、入職時にもしっかり説明している。	新入職者には、“ここが生活の場であること、家族の様に接しその人がして欲しい支援をしてあげる事が“生きる”に繋がる、その人が主である”、と具体的に説明している。今後も理念を大切に、支援に繋がりたい。
2		○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の町会の行事に参加したりボランティアの受け入れ中学生の職場体験の受け入れ等実施しています。ボランティアセンターにも出来ることを協力する旨伝え交流促進に向け努力しています	散歩や近隣外出時での挨拶、町会の行事への参加、ボランティアの方々との交流などを通し、地域の方々との触れ合いがある。地元の二つの中学校の職場体験学習を受け入れている。	散歩時には畑での収穫物を頂くこともあるとの事。中学生との体験学習の取り組みに於いては、若い世代に認知症の理解が深まっていく事を期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	久米田病院の医師や認知症ケア専門士の資格を持つ看護師が地域包括と共に地域支援を7月から始めたので 系列の事業所であるやすらぎも関わりを持つことが増えると思われま		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族様や町会長、介護相談員の参加に加え地域包括も加わってくださるようになり より良いアドバイスを受けることも多く、サービスの向上に役立っています 介護保険課の担当の職員にもよく質問させていただいています	家族、町会長、市職員、介護相談員、地域包括支援センター職員が構成員となり、2か月に1度開催されている。近況報告、行事報告、質疑応答からなり、ホーム内での出来事や現状報告が細やかに報告出来ている。	より多くの家族が出席となるよう取り組みに期待する。日頃の支援や事業所の運営についてなど、家族が身近に感じられる議題をプラスする等、工夫をこらしたい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村担当者の方と運営推進会議を通じ事業所の実情を理解していただいております 家族会にも来ていただき相談しやすい現状です	介護保険課職員が運営推進会議に出席している。日頃から報告や相談がし易い関係にあり、協力関係が築かれている。	運営推進会議や家族会への出席があり、ホームの実情がよく伝わっている。行政にも活かされ、また本ホームの更なる充実に向け、助言や提案をもお願いしたい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は遅出が出勤時から17:00まで開放し 身体拘束はしていません これからも取り組んでいきます	身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。報道事件があった時には、話し合いの場を設け話題にしている。言葉や口の利き方にも気を付けるよう指導している。	時には、日頃の支援の仕方や態度について職員同士で振り返る事も大切と考える。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎年 研修に参加し 報告を聞き資料など閲覧しています また、朝のカンファレンスなどでも、度々話をしており 言葉の暴力についても 職員に意識してもらっています		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在は成年後見人制度を使われる方は入居しておりませんがこの春入院した方を地域包括に相談し成年後見制度につなげました 職員研修も積極的に参加しています</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分に時間を取って説明し理解を得ております</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の意見を聞き速やかに対応し運営に活かしています。また傾聴ボランティアの導入や介護相談員来所時にも個々の相談等が話せるようにしています</p>	<p>家族の来訪時、また運営推進会議や「家族会」開催時等に表出する機会がある。意見や要望が出し易い様に、家族との関係作りに関心している。</p>	<p>家族アンケートは全員から提出があり、事業所との関係が窺えた。家族の意見や提案、苦情等は今後のホーム、支援の充実に繋がるものであり、積極的に伺う機会を持たれたい。「家族会」も有効に活用されたい。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>職員の入退者で生じる問題や業務内容の変更などもスタッフの意見を反映し、また理解していただけるよう努力しています。個々の職員の意見も施設長が面談する機会を設け反映させています</p>	<p>会議の折に職員から意見や提案が出されている。個々に於ける支援のより良い方法や、レクリエーションの内容など、反映させている。</p>	<p>施設長及び管理者は職員から信頼され、会話もよくなされている。チームワーク良く、今後も意見や提案が出し易い環境作りを大切に、反映して欲しい。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は病院の理事長であり話し合いなどはありませんが就業規定に定義されており管理者が勤務表を作る時 各自の希望を聞いたりしています。また、同施設内で三部署会議を開催したり 施設長面談などを行い整備に努めています</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得推進の為の協力は惜しみません 研修の受講を実施しています 実践者研修・リーダー研修についても環境が整い次第行っていただきます 今年も初任者研修を受講しています</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム間で相互交流の研修を行いました。情報交換会も年3回参加し、事業者連絡会の研修参加等の交流を行っています また、合同で認知症カフェも行い交流しています</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>センター方式を利用し ご家族様から入居者様の様子を教えていただき 入居者様の人となり理解する努力をしています。また 施設に来ていただいたり家庭訪問もさせていただきます</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居後は密にカンファレンスを行います。家族様に教えていただく事も多く 要望等はお話しいただけるような関係を作るよう努力しています</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>施設見学に来られた時に 自施設の特徴を紹介した上で 各グループホームでも内容や特徴が違うことを説明し、他施設の施設見学も推奨しています。認知症系の老人施設紹介も実施しています</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の方から学ぶ事も多く尊敬する事もあります 常に家族と同じ思いあるよう意識しながら暮らしを共にしています</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族様も家庭内でそれぞれ事情がある場合があり、双方の意見が食い違う場合は入居者の視点でお願いする事もあります。家族様とのきずなが細くならない援助を行いたいと思います。家族様とも納得のいく話し合いの場を持つようにしています</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの店に出掛けたり 岸和田城、トンボ池公園 牛滝山等入居者が足を運んだと思われる場所に出かけます 近くのお大師さんの月参りは大寒や炎天下でない場合は行くようにしています</p>	<p>道の駅“葉菜の森”やトンボ池公園、また久米田寺にはほぼ毎月参詣している。家族と共に通い慣れた理美容院や喫茶店に出掛ける方もおられる。</p>	<p>認知症カフェに参加するようになり、新たな馴染みの関係が出来つつある。場所や人だけでなく、楽しみ事や続けてきた事などにも継続して支援をお願いしたい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>孤立しているように感じる時は他入居者に声をかけ数人で会話をする等、常に職員が見守り、お手伝いの内容等のバランスも配慮しており利用者間の意思疎通を図る工夫をしています</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>死去された方の葬式の参列や退居先 入院先に行かせていただいています お手紙を下さる方には 懐かしいエピソードを加えたお話を返信しています</p>		

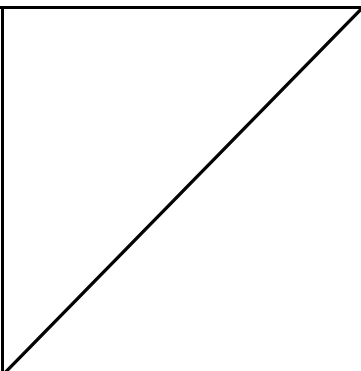
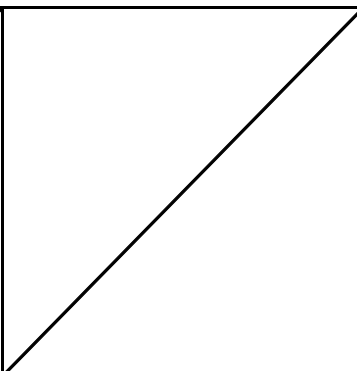
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族さんからの情報提供や外出先、外食等本人の意向に添えるよう配慮しています 難しい場合には 理由を説明しご理解いただけるように努力しています	入居者の様子や状態に注意を払いながら、希望や意向の把握に努めるよう心掛けています。各々の生活歴を知る事、意識を持って接する事を職員に伝えている。	各入居者には担当を決めている。より深く関わりを持つことで、入居者それぞれの思いに副った支援が出来るよう今後も努力されたい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入居の際にセンター方式を利用し記入していただき情報収集し、新たに得た情報はスタッフがカンファレンスにかけ共有しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝夕の申し送り、カンファレンスで話し合いの場を設けています 数日は経過報告シートに記載し 心身状態の流れを把握共有しています 連絡ノートも使用し共有しています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に1回 管理者 看護師 正社員でスタッフ会議を開き カンファレンスやモニタリングを行い、日常のカンファレンスで行った評価も行っています 暮らしに密着した計画を作成しております	毎月のカンファレンスやモニタリングを通し、かかりつけ医に相談したり家族の意見を聞きながら介護計画を作成している。無理のない計画、出来る事の維持を大切にしたい計画作成を心掛けている。	ホームで生き生きと暮らしていく為に、楽しみ事や頑張る目標を更に盛り込んだ身近な介護計画の作成を望む。介護計画書を見て、全職員が誰の計画書であるか判るような具体的なものでありたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は共有し 全員把握しています 毎日の個別記録を参考にし介護計画の見直しやカンファレンスを行います		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	手首の骨折でギブスを使う入居者に対して看護師がデイケアの理学療法士につなぎ、週3回機能訓練に来所し スタッフにもその他の日のリハビリの仕方を指導しています。他には 腰痛の入居者に良質な睡眠をもたらすため姿勢の指導や靴や嚙下、車いすの調整等の相談もしています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	色々な催しに出かけ交流をしています。ボランティアの受け入れをはじめ 傾聴ボランティアもお願いしています 生け花が好きな入居者のために 他のグループホームの花カフェにも出かけています		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設病院の主治医がすぐに対応していただけます 休日、緊急時でも対応して下さいますが 必要時は看護師 管理者が適切に支援しています	併設する病院が主治医となり、月2回往診を行っている。従来のかかりつけ医の受診を継続している人も1名いる。希望者は訪問歯科の受診も受けられる。1階デイの看護師が施設長となり、関係を密に結んでいる。	散歩が日課となり、そのことは健康にも繋がっていると思われる。今後も心身共に健康な生活が送られるよう、適切な医療支援の継続を願う。

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>看護師は階下のディケア兼務で午後やすらぎにきます 毎日の状況をチェックし服薬の準備などを済ませ気づきがあれば職員に指示がでます。緊急時には時間は関係なくすぐ対応しています</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には情報提供表を使用しその人らしく対応していただけるように配慮しています 併設の病院には看護師や管理者が出向き情報交換しています 緊急対応の病院には退院後の援助の仕方などが適切に把握できるような関係を保つよう努力しています 入院時の洗濯等施設で行い援助しています</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時にお話をしてもなかなか実感される家族さんは少ない為ある程度の時期に家族さんと向き合って対話します その時はそれぞれの思いを文章にし保存しております</p>	<p>元気に自分で自分の事をする方針に切り替えた為、以前ほど積極的に看取りをしていない。重要事項説明書に「看取りに関する指針」を設け、重度化し入院や救急医療処置を必要とする場合、家族の意向を職員、かかりつけ医、及び看護師と話し合いを持ち、どこまで重度化や終末期を支えていけるか見極め対処している。</p>	<p>安心して納得のいく最期を迎えられるよう、支援に取り組んで頂きたい。施設長が看護師という事であり、今後の積極的な支援に期待する。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当は実践出来ています マニュアルも有意義に活用しています 救急に至る前の段階で気づくことが出来るよう脱水排泄 睡眠状態などの変化を共有しています</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を実施 散歩時も時々非常階段を利用しています 町内会、併設病院等協力体制はお願いしております 防災の会議を開き備品も購入しました 施設外に避難する時に首にかける防災連絡票も作り置いています</p>	<p>年2回避難訓練を行い、直近では4月28日、昼間と夜間のそれぞれ1階厨房からの出火を想定した避難訓練を実施した。昼間は階段昇降が難しい人も、1階デイサービスの協力の下安全に避難することが出来た。</p>	<p>夜間想定では避難場所へ誘導しても入居者が動いてしまうという問題が起き、洗濯室へ誘導する事となった。マニュアルの文章では解りにくく実施訓練を行う重要性を感じたとの事。今後活かされたい。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14 ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報である記録等は保管場所を決め施錠できるようになっています。居室への訪問は必ず声かけを行い言葉づかいもスタッフ間で討議します	自分の意見を押しつけず、入居者がしたいこと、必要としていること、して欲しいことは何かを考える。また尊厳ある自立した日常生活を営むことが出来るよう、さりげないケアを心がけている。プライバシーの保護に意識して取り組んでいる	“自分が恥ずかしいと感じる事はしない”と指導している。その思いを忘れず、人格を尊重した行動で支援をされたい。
37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個別対応を大切にしています 言葉にならない行動には「どうされましたか？」と問うことで考えることを支援しています		
38	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝みんなで日課を決めます 入床、起床時間は決めていません 外出時は各個人の希望に沿った場所へ行けるよう支援します		
39	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者の状態に合わせて 訪問理美容師をお願いしています。		
40	15 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや片付けは入居者の方と職員と一緒にいきます 職員も一緒に食事をしています	昼食は1階のデイ、夕食は隣接地の病院の厨房で調理された食事を入居者と一緒に盛りつけ、配膳を行う。細かく刻んでいるが介護食の人はおらず、皆箸で食していた。外食に回転寿司やファミリーレストラン、認知症カフェに行ったりしている。	高齢者にとり、食は大きな楽しみであり食事に対しても意欲的な人が多いので、入居者の好むメニューや希望を伝える事で、より楽しい食事となるよう図られたい。
41	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるように、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	栄養士による献立でバランスよく食事が作られています 水分摂取は確保できるよう配慮しています デイルームにお茶を常備し自由に飲んでいただいています		
42	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各自食後すぐに口腔ケアの声掛けを行い付き添い援助もします。義歯は夜間、洗浄液につけます		
43	16 ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	紙パンツから日中は布パンツに変更になった入居者もおられます。トイレ誘導 紙パンツ パット 紙オムツ等各自に合わせて支援しています 排便、排尿の時間や有無は記録し共有する事で把握し 羞恥心に配慮しながら支援しています	トイレが5ヶ所あり、夜は紙パンツ昼は失禁布パンツを着用している。排泄チェック表をつけ、声掛けをし、トイレに誘導している。	ケアカンファレンスでもトイレの介助の仕方、声のかけ方、ふき方、誘導の仕方、出来る人出来ない人に対して等職員間で話し合いがもたれた。排泄は生きる意欲にかかわることでこれからも大切に大らかに支援を行って頂きたい
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食時、おやつ時 フルーツの提供も多く水分摂取量、散歩や竹踏みなどの運動量も便秘の予防対策として対応しています		
45	17 ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の時間帯、曜日は決めています但本人のタイミングや希望体調により臨機応変に対応しています夏場のシャワー等必要時は支援をしています 場合によってはディケアの大浴場を利用しています	一面の大きなガラス窓から坪庭と竹垣が見え、ゆったりとした開放感のある趣のある風呂になっている。毎日3時から、ひとり週3回以上の入浴を行っている。入浴を拒む人に対しては、日や時間をおいて声かけをしたり、工夫している。	これからも無理強いすることなく、くつろいだ気分で入浴できるよう支援願いたい。

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>起床時間入床時間は決めていません 散歩やレクの合間は居室で臥床したり ソファで休息したりと自由に生活されています スタッフとの信頼関係を密にし支援しています</p>			
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬リストは職員がいつでも見られるよう個人記録に閉じており事務所に保管 服薬変更は看護師もしくは管理者から説明しています 服薬は複数のスタッフがチェックするほかチェックリストも活用し間違いの無いように支援しています</p>			
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>食事の準備、片付け、洗濯干しなど個人の力を見極め手伝っていただいたり 花壇を作り 手入れ、水やりをしていただいています 毎日外出することが一番 気分転換になっているようです</p>			
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>天候不順でない限り 散歩に出かけます 久米田寺のお大師様の日 道の駅愛彩ランドなど地域の方と交流することが出来る場所に出かけています</p>	<p>お花見、盆踊り、だんじり見物、カフェ、ドライブ等の他に、雨の日以外毎日40分くらい、久米田病院の駐車場まで散歩をし、朝の光を浴びながら時にはつばめを眺めることを日課としている。足腰が鍛えられ、気分転換や五感を刺激し、元気な毎日を送っている。</p>	<p>午前中、毎日の散歩を日課としている。散歩リハビリの効用で、杖が全員取れたとの事。今後も一人ひとりの移動の配慮をしながら、外出支援を大切にしていきたい。</p>
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>数人の方がお金を所持しています 月参りのお寺にお賽銭を出したり電話をかける際に使っています</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>公衆電話もあり、職員が支援し電話をかけたり 手紙、ハガキは施設の住所を書き加えさせていただきます 一緒に投函に行きます</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>壁には入居者とともに季節の飾りつけを作成し 中庭からの採光は充分取り入れています 温度計の設置 空気清浄機の設置等 居心地のよい環境にしています トイレも広く使いやすくなっています</p>	<p>中庭をガラス戸で囲んだ明るく開放的な建物で、365歩のマーチに合わせ手をたたきながら行進したり、竹踏みをする。その日の予定表に午前は散歩、午後は数ある遊びやゲームの予定の札を貼り出し、そのゲームの結果（ボーリング、ダーツ、ゴルフ、アーチェリー等）の成績表もあり、活発に興味を持って動ける工夫がしてある。</p>	<p>自分たちが出来る範囲で手伝った富士山やひまわりの貼り絵、習字、絵手紙等の作品や写真が飾ってあり、入居者や家族の目にもよく止まる。居心地よく生活し易い様に、今後も支援、工夫を続けられたい。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになったり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間は有意義に活用し 観葉植物を配置し椅子を置いたりテレビの周りにソファを置くなど工夫しています</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室内も広い為個人の愛着のある家具等多くものを配置していただいています 家族さんも多くの写真や飾り物を持って来られ 一緒に楽しまれています</p>	<p>高さの調節可能な低床ベッドと洗面化粧台、エアコン、ナースコールが備えつけられ、思い出のもの、大切なもの、好きなネコのぬいぐるみや写真等に囲まれたその人なりの部屋づくりが出来ている。</p>	<p>各部屋には時計、カレンダーと、その人に合わせた日課が貼られ時間や目的意識を持って行動している人がいたり、TVで好きな番組を見て過ごす人もいます。居心地のよい居室作りに今後も支援されたい。</p>

55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室の表札は漢字に振り仮名をふっていますが 理解が難しい方や背の低い方には目線に合わせた位置に表札を作っています。トイレ、風呂場もわかりやすく表示しています</p>		
----	--	---	---	--

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない